

(様式1)

個別施策評価調書

(平成30年度実績)

主管部	保健福祉部	
関係部		

基本施策	I-1 健康・福祉サービスを強化する
個別施策	③ 障害者の地域生活支援
個別施策の方向	障害のある人もない人も、すべての市民が共生できる社会の実現に向けて、障害福祉サービス等の充実を図り、障害のある人の日常生活及び社会生活の総合的な支援の充実に努める。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)											
H27年度	決算	事業費	1,879,378	人件費	35,253	事業コスト	1,914,631				
	事業費内訳	国庫支出金	950,926	県支出金	465,968	地方債	0	その他特財	0	一般財源	462,484
H28年度	決算	事業費	2,002,134	人件費	34,963	事業コスト	2,037,097				
	事業費内訳	国庫支出金	1,005,963	県支出金	494,209	地方債	0	その他特財	0	一般財源	501,962
H29年度	決算	事業費	2,132,625	人件費	33,507	事業コスト	2,166,132				
	事業費内訳	国庫支出金	1,030,980	県支出金	517,736	地方債	0	その他特財	0	一般財源	583,909
H30年度	決算	事業費	2,284,999	人件費	52,123	事業コスト	2,337,122				
	事業費内訳	国庫支出金	1,123,726	県支出金	561,862	地方債	0	その他特財	0	一般財源	599,411

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	17.7%	18.0%	0.3%
3) 障害者の福祉			

平成30年度つくば市行政経営懇談会 評価結果		
総合評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。
提言	<p>おひさまサンサンフェスティバルやチャレンジアートフェスティバルについては、インクルーシブという理念を実現できるように、一般の人たちと障害を持っている人たちが共に事業をつくり上げていく方向性も加味する形で事業の改善を図られたい。</p> <p>また、サービス事業については、少し柔軟性を持たせた形で、利用者の目線に立ち、利用しやすい仕組みづくりを検討されたい。</p>	

施策の 取組概要	<p>スポーツやレクリエーション活動、障害者が制作した作品の展示や舞台発表等を通して、障害者と参加者等との交流を図ることで、市民の障害に関する意識啓発及び理解を推進し、障害者の社会参加を促進する。</p> <p>各種支援サービス、またサービスに係る費用の助成等の実施により、障害者の社会参加の実現や余暇時間の充実を図るとともに、居宅で介護をする家族の身体的及び経済的負担を軽減する。</p>
施策の 成果	<p>おひさまサンサン生き生きまつり及びチャレンジアートフェスティバルの開催を通して、障害者の社会参加を促進するとともに障害福祉への意識啓発を推進することができた。また、広報つくばへの掲載やチラシ配布等の広報活動により、おひさまサンサン生き生きまつりでは参加・来場者数が平成29年と比較して8%増加した。</p> <p>障害福祉サービス事業については、支給決定者数が前年と比較して7%増加し、サービスの支給により、障害者の自立に向けた社会参加の実現を図ることができた。</p> <p>障害者日中一時預かりサービス利用費助成については、支給決定者が平成29年と比較して14%増加し、在宅で介護する家族の負担軽減に寄与した。</p> <p>障害者移動支援サービス利用費助成については、支給決定者数が前年と比較して5%増加し、障害者の社会参加の機会拡大や日常生活及び余暇時間の充実を図ることができた。</p>
課題と 改善目標	<p>おひさまサンサン生き生きまつりやチャレンジアートフェスティバルでは、障害者の社会参加の促進を図るため、実行委員会と連携して、広報活動や啓発活動を充実させるとともに当事者だけではなく、多様な市民等との交流機会の充実を図る。</p> <p>障害者総合支援法に基づき、障害者一人ひとりの状況にあった障害福祉サービス事業等の支給決定を行うと共に、計画相談支援事業者によるサービス利用計画に基づき、真に必要なとされる適切なサービス費の給付を行う。また、利用者のニーズにあわせ、市内外の障害福祉サービス事業所の事業内容や特色等について、事業所一覧等のガイドブックによる情報提供を行い、更なる利用促進を図る。</p>

自己評価（所管部署評価）		
自己評価	B	施策の成果は確認できるが、一部改善が必要であると判断される。